



これから乳房の手術をされる方へ

県立広島病院 乳がん看護認定看護師
賀出朱美



これから乳房の手術をされる方にとって、気になる心配事に乳房の形の変化があります。手術の方法や取り除いた部位によって変化の個人差はありますが、手術の後も、今までどおり“おしゃれに過ごしたい”と思うことは当然な気持ちです。

この冊子は広島周辺の乳房再建術に関する情報や手術後の下着・補整用品についての情報を集めました。また乳がんサロン「まちなかりボンサロン」に参加された手術後の方のアンケート結果も掲載しています。

手術後もあなたらしく過ごせるようにこの冊子をご活用ください。



乳房再建は、乳がん患者で治療中の人達から見ると贅沢な話
かもしれません。長時間の再建手術や入院で、親しい人達から

「胸のふくらみなんて、いい年なんだし命が助かっているだけでも
十分じゃない? 今さら胸を気にしてどうするの」

と、病気でもない手術(再建術)をしたことは悪かったのだろうかと思
うような意見を言われました。

美容整形でもなく、完成度の高い胸の復元を望んでいる訳でも
ありません。ただ当たり前にあるべきものが無くなるのはさみしく、人
前で脱衣をするのに気にならない程度の胸があってほしただけな
のです。胸のふくらみを残さない全摘術後は、日々自分の姿に失望
してしまい“可哀想”に思ってしまう。

確かに、ふくらみを下着でもごまかせますし、頻繁に温泉に行く訳
でもありません。将来、転移や再発の不安がない訳ではありません。

しかし再建術を考えたのは、入浴や着替えをする度に不自然な
胸を気にせず、日々乳がんに罹った自分を忘れ、今を前向きに生き
るためなのです。再建が出来る状態であることに感謝しています。

今後「乳房再建」の実例が増え、乳房再建を受けられる病院が
増えることを願っています。

Yさん 50歳代 手術:2011年7月/2012年7月